

■管理運営方針

- ① 柔軟な運営体制と行政直営以外の市民主体の運営体制を図る。
- ② 地域に密着した管理運営体制を図る。
- ③ 多様な人や地域の組織、団体等が管理運営に関われるようにする。
- ④ 市民、行政の役割分担、協働体制を明確にしていく。
- ⑤ 行政の庁内体制の確立と連携を図る。
- ⑥ プレイリーダー、管理運営に携わる人の常駐化を図る。



■事業方針

- ① 子供の生活や遊びに関する現状を把握する。
- ② 活動支援に関する情報の収集や地元に関わる専門家を発掘する。
- ③ 協働していく市民・地域組織等の状況、事業の進行状況に合わせて市は後方から柔軟に支援する。
- ④ 個人、団体等幅広い多様な組み合わせで事業を推進する。



■今後の展開

- ① 武蔵野市型プレイパークを目指して
 - 地域の密接に関わりのある子どもの保護者や青少協等の各団体を絡めて、NPOへと展開していくことを理想とする。
 - 現地でミニプレイパークを開催し、地域の反応や運営体制の課題を整理する。
- ② 開園までのスケジュール（平成20年度春開園予定）
 - プレイパークの認知度を一層高める。
 - 懇談会等、開園までの諸課題を定期的に市民と検討する。
 - 質の高いプレイリーダーを育成する。
- ③ 管理運営財源の確保
 - 住民任意活動の財源の確保（官や民の補助金を活用する。）
 - 自由度の高い財源確保の検討。



事業の目的・経過

■事業の目的

本計画は、境冒険遊び場公園を整備するにあたり、1日プレイパークやワークショップの開催により市民のニーズ把握、今後の事業展開のための人材の発掘等を行いながら、武蔵野市らしい、地域のニーズに合った冒険遊び場公園の整備基本計画を策定することを目的とする。

■事業の経緯と今年度の業務経過

【平成15年度】

- 職員による研究会発足（10課 10名）、報告書作成
- 武蔵野市型プレイパークのあり方・実現に向けての検討

【平成16年度】

- 1日プレイパークの開催（西久保公園、境南ふれあい広場公園）
全2回、参加者（子供約270名、大人約150名）

【平成17年度】

- 1日プレイパーク、研修会の開催
 - ・事前研修会 10月1日(土)、8日(土)、12日(水)
 - ・1回目 10月15日(土) 下水ポンプ場公園（子供約130名、大人約75名）
 - ・2回目 10月29日(土) むさしの市民公園（子供約290名、大人約160名）
 - ・3回目 11月6日(日) 境南ふれあい広場公園（子供約200名、大人約140名）
 - ・反省研修会 11月15日(火)
- 意見情報交換会の開催
 - ・1回目 11月22日(火) 午前 … スイングビル
 - ・2回目 12月18日(日) 午後 … スイングビル、現地調査
- 基本計画策定ためのワークショップの開催
 - ・1回目 1月17日(火) 午前 … スイングビル
 - ・2回目 2月14日(火) 午前 … 渋谷はるのおがわプレーパークの見学
 - ・3回目 2月21日(火) 午前 … スイングビル
 - ・4回目 3月9日(木) 午前 … スイングビル・武蔵境開発事務所



基本計画の概要

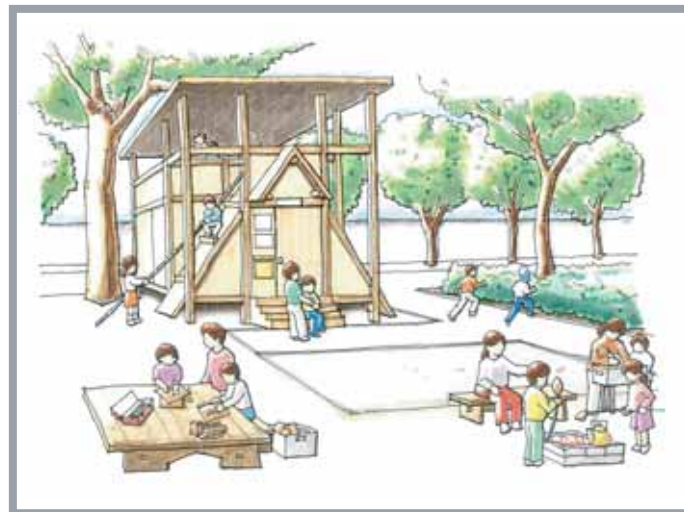
■計画地の位置



■現況写真



■イメージスケッチー2（管理ゾーン）



■基本理念

美しい景観と優しい心を育てる
 緑と水・人と地域の絆を大切にした都市型の冒険遊び場公園づくり

■基本方針

- 自分の責任と自由な発想で遊べる環境をつくる。
- 既存および潜在する緑と水を活用し、美しい景観を創造する。
- 誰もが安心安全に利用できる明るく開放的な「場」を創出する。
- 利用者や地域住民、地域組織がいつも子供を見守り育てる体制づくりを行う。
- プレイパークに必要な最小限の施設を設置する。

■ゾーニング計画図



■アクションプログラムの方向性

- 緑の小路ゾーン → 散策、休息 等
- 林のゾーン → 木登り、木工作、廃材を利用した遊び道具づくり 等
- 丘のゾーン → 土いじり、土掘り、泥だんごづくり、畑での栽培活動、泥んこ合戦 等
- 水のゾーン → 水たまりで水遊び、手押しポンプ、井戸、手づくり水鉄砲合戦、手づくり笹舟競争 等
- 土のゾーン → 雑まつり、鯉のぼり、繭玉づくり、飯ごう炊飯やデイキャンプ等、餅つき 等
- 管理ゾーン → かまど、バーベキュー 等

■イメージスケッチー1（鳥瞰図）



■模型写真



■イメージスケッチー3（林・水・丘のゾーン）

